
公益社団法人 日本広告制作協会

2022 年度事業報告

第 35 回定例総会

開催日：2023 年 5 月 25 日（木）16 時～

会 場：ZOOM オンライン&日本広告制作協会 事務局



コロナ禍もようやく収束の方向の 2023 年。
3 月に実施した「アフターコロナを考える」アンケート結果でも、
デジタル関連の仕事は増えているようです。
また、コロナ禍を経てコミュニケーションの大切さを感じた方も多く、
出社方向に切り替える会社も多くなってきましたが、
リモートワークという働き方を経験し、その良さも継続して実施していく企業も多い印象です。
アンケートにあったように、「制作業の特性を活かした経営ができればベスト」
「原点に戻って、クリエイティブのクオリティを高めることにこだわると、
クリエイティブのあり方に想いをはせる回答が印象的でした。

デジタルであろうが、グラフィックであろうが、コミュニケーションという本質を確り掴み、
それに向き合っていくことには違いはありません。
予測不能の時代に陥った 3 年。今後も、ある程度見えること、全く予測不能なこともあるでしょう。
常に変化に柔軟に対応し、本質は何かを見つめ前向きであるために、
横の繋がりを生かしていただきながら、様々な情報を提供してまいります。

OAC への更なるご支援ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

第 35 回定例総会 次第

1. 開会
2. 理事長 挨拶
3. 議長 選任
4. 議事録署名人 選任
5. 役員選挙の結果報告（選挙管理委員長 服部吾郎）
6. 審議
 - ◆第 1 号議案
 - ① 「正会員理事・監事」の選任および承認の件
 - ② 「正会員外理事」の選任および承認の件

 - ◆第 2 号議案
 - 2022 年度 事業報告
 - 2022 年度 決算報告及び監査報告 承認の件
7. 報告
 - 2023 年度 事業計画
 - 2023 年度 予算書

第 1 号議案

「2023 年役員選挙による選出役員」の認証

① 「正会員理事・監事」の選任および下記役員候補者承認の件

◆ 理事候補 11 名 (50 音順)

梶原 鉄也 (株) 東京グラフィックデザイナーズ
古茶 轄己 (株) 日本デザインセンター
小松 賀津美 (株) エー・ティ・エー
佐藤 昭一 (株) スタチオ・ユニ
篠原 茂樹 (株) 東京アドデザイナーズ
杉谷 一郎 (株) アクロバット
瀧澤 武仁 (株) 博報堂プロダクツ
花田 智人 (株) アドブレーション
広瀬 達也 (株) 広瀬企画
溝川 誠司 (株) ソリッド・プラス
湯浅 洋平 (株) たきコーポレーション

◆ 監事候補 2 名 (50 音順)

田村 壽孝 (株) 東京ニュース
村上 健 (株) エディターシップ

② 「正会員外理事」の選任および承認の件

◆ 理事候補 4 名 (50 音順)

青木 真理 多摩美術大学 キャリアセンター課長
宇垣 恵一 現 公益社団法人日本広告制作協会 (OAC) 専務理事
名久井 貴詞 (本名 名久井 貴信) 仕事上は貴詞を使用
office Nacky 代表 クリエイティブディレクター
元 味の素(株)理事 クリエイティブ統括部長
吉田 和彦 (株) 宣伝会議 執行役員

なお、佐藤文則理事長は任期満了につき退任いたします。

新たな理事長は、総会終了後に行う理事会にて決定いたしますので、後日お伝えいたします。

第 2 号議案

2022 年度事業報告

コロナ禍 3 年目を迎えた 2022 年。

「人の社会のつながりを担い、理解と共感を育む」を事業テーマに掲げ、実施してまいりました。

計画した事業はほぼテーマに沿った展開が為されました。しかし会員社の皆さん、特に若手クリエイターの育成につながる部分の強化はまだまだですし、またコロナ禍になってからの各委員会への参加数の減少も食い止められなかったのが現実です。委員会もオンラインとリアルのハイブリッド形式で呼びかけていますが、オンラインの参加が中心。今後はより一層、日常の仕事では得られない気づきが得られるとか、個々が参加して楽しいと思える魅力づくりに努めなければならないと思った 1 年にもなりました。

2022 年度事業報告

会員動向

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日（入退会）

		正会員	賛助会員
入 会	1	(株)Baby Tokyo	(株)精美堂
	2		
	3		
	4		
退 会	1	(株)電通プロモーションプラス（旧：電通テック）	集丸(株)
	2	(株)エゾモバイル	田尻広告デザイン
	3	(株)スクール・コーポレーション	(株)エヌシーシーループ
	4	(株)山田写真製版所	東京都製本工業組合
	5	(株)ペンシルロケット	(株)スタジオ・エス
	6	(株)ベルズ	
	7		
	8		
	9		

2023 年 3 月 31 日現在の会員社数

- ◇ 正会員社 63 社（前年同月比 92. 6%：5 社減）68
- ◇ 賛助会員社 61 社（前年同月比 93. 8%：4 社減）65
- 合計 124 社（前年同月比 93. 2%：9 社減）

正会員社数 63社 (2023年3月31日現在)

(50音順)

1. (株)アーツ	29. (株)スタチオ・ユニ	57. フェロールーム(株)
2. (株)アイビーネット	30. (株)スナップ	58. (株)プランテーション
3. (有)アイル企画	31. (株)スパイス	59. (有)ブレインカフェ
4. (株)アクロバット	32. (株)センシユウ・アド・クリエイターズ	60. (株)プロモーションズライト
5. (株)アジア太平洋観光社	33. (株)創芸社	61. (株)Baby Tokyo
6. (株)アズワン	34. (株)ソリッド・プラス	62. (株)ホシ・デザイン
7. アップワード(株)	35. (株)たきコーポレーション	63. (株)読広クリエイティブスタジオ
8. (株)アド・プランニング研究所	36. (株)ティ・イー・シー企画	
9. (株)アドブレン	37. (株)ティー・ケー・オー	
10. (株)一星企画	38. (株)TCD 東京オフィス	
11. (株)インクポイント	39. (株)ティーディーエス	
12. インプレッション(株)	40. デザインブル (株)	
13. (株)ウィルコミュニケーションデザイン研究所	41. (株)電通クリエイティブ X	
14. (株)エージー	42. (株)東京アドデザイナーズ	
15. (株)イー・ティ・イー	43. (株)東京グラフィックデザイナーズ	
16. (株)エディターシップ	44. (株)東京ニュース	
17. (株)オックス	45. (株)東北新社	
18. (株)オフィスバンズ	46. NISSHA エフエイト(株)	
19. (株)オンド	47. (株)日本デザインセンター	
20. (株)ガット	48. (株)2055	
21. (株)ガッシュ	49. (株)ノエ	
22. (株)グラヴ	50. (株)ノブレ	
23. コアプランニング(株)	51. (有)バウ広告事務所	
24. (株)サクラアルカス	52. (株)ハウラー	
25. サン・クリエイティブ(株)	53. (株)博報堂プロダクツ	
26. C. C. (株)レマン	54. (株)ハドル	
27. (株)スキップ	55. (株)樋口事務所	
28. (株)スタジオゲット	56. (株)広瀬企画	

賛助会員社数 61社 (2023年3月31日現在)

(50音順)

1. RX Japan(株)	23. (株)宣伝会議	44. 日本デザイン福祉専門学校
2. アダムシナプス	24. (株)セントラルプロフィックス	45. 日本電子専門学校
3. (株)アド・テクニカ	25. (株)第一製版	46. 野口会計法務事務所
4. (有)イメージ・プラネット	26. (株)竹尾	47. (株)博報堂
5. エイクエント・エルエルシー	27. 多摩美術大学	48. (株)パルック
6. (株)エスケイワード	28. タンデムクロス(株)	49. (株)二葉企画
7. (株)ADK クリエイティブ・ワン	29. (株)デザインオフィス・キャン	50. (株)ポーンデジタル
8. 大阪芸術大学	30. (株)電通	51. 町田デザイン&建築専門学校
9. OCA 大阪デザイン&IT 専門学校	31. (株)電通クリエイティブキューブ	52. マルキンアド(株)
10. (株)大塚商会	32. 東京グラフィックコミュニケーションズ 工業組合	53. 武蔵野美術大学
11. (株)オリコム	33. 東京工科大学	54. (株)メディアネットワーク
12. 株式会社マーケティングジャパン(株)	34. 東京コミュニケーションアート専門学校	55. (株)モスデザイン研究所
13. (株)ケイブラン	35. 東京造形大学	56. (株)モリサワ
14. (株)光画	36. 東京デザイン専門学校	57. (株)山崎デザイン事務所
15. (株)ジェイスリー	37. (株)T o o	58. 山脇美術専門学校
16. ジェイプリント(株)	38. (株)トラック	59. (株)ユウクリ
17. (株)シュガー	39. (株)日広社	60. (株)ライトアップ
18. (株)ショウエイ	40. (株)日庄	61. (株)玲企画
19. 女子美術大学	41. (株)日東装備	
20. (株)スカイアーチネットワークス	42. 日本工学院八王子専門学校	
21. (株)スタジオテック	43. 日本デザイナー学院	
22. (株)精美堂		

三陸鉄道カレンダー 2023 年版 制作

2年目を迎えたコロナ禍での三陸支援。

東日本大震災(2011年)、そして全線開通の約半年後に見舞われた台風19号(2019年)、さらに2020年からはコロナ禍。幾多の困難から立ち上がる三陸鉄道とその沿線を支援するために始めた本企画も2回目となります。「乗るぞ!三鉄 巡ろう!三陸」と題し、多くの方が三陸に想いを巡らすカレンダーにすべく制作いたしました。

イラスト・絵画を一般公募・ギャラリー列車の運行

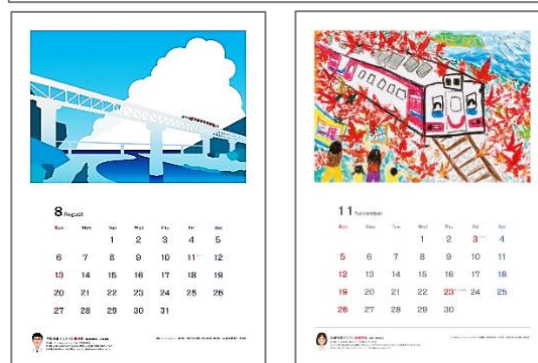
昨年同様、全国公募にてイラストや絵画を募集。結果 65 作品が寄せられ(前回比 108%)、全作品を掲出したギャラリー列車が2022年10月の三陸沿線を運行いたしました。

12 作品を選考し、カレンダーに。

選考は 65 作品から三陸鉄道さんと当協会で実施。コロナ禍にてオンラインでの選考となりましたが、12 作品を選考しカレンダーに仕上げました。なお、カレンダーには三陸鉄道に勤務される皆さんの似顔絵と、おススメ情報として沿線の見所やグルメ情報を記載。巻末にもグルメMAPを掲載し、「いつかは三陸」へのコンセプトに合うようにいたしました。なお、カレンダーは A4(展開 A3) サイズ 28P とし、昨年の反省点であった送料の部分、持ち運びやすさを改善いたしました。

そして 2024 年版も実施へ!

三陸鉄道さんからは、コロナ禍で運賃収入の減少の中、ほぼ完売の連絡。来年もぜひ協力をとの要請があり、企画に着手しています(2024 年度の事業計画をご覧ください)。



カレンダーの詳細は HP をご覧ください

<http://www.oac.or.jp/kuribora/santetsu2022/result.html>

第6回 想いを伝えるカードデザイン大賞

応募総数 221 点 (前回比: 163.7% 前回数 135 点)

専門学校 6 校 (195 作品) 【前年応募数:6 校89作品】

大学 3 校 (7 作品) 【前年応募数:7 校 16 作品】

一般 (19 作品) 【前年応募数:26 作品】

審査状況

一次審査を担当委員会で行い、60 作品を選出。

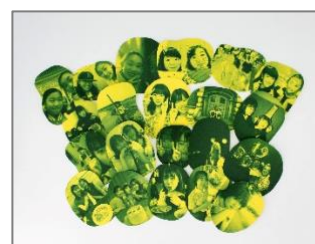
本審査では、株式会社ブルーパドル代表 アートディレクターの佐藤ねじ氏、作家の岸田奈美氏、歌人の岡野大嗣氏、そして協賛企業2社、ならびに当協会専務理事が選考にあたり、各賞を決定しました。

贈賞式

開催日:2022年 11 月 26 日(土)

会 場:ZOOM オンライン及び You tube Live

コロナ禍での贈賞式はオンラインにて実施。受賞者の方が審査委員の方から直接選考理由を聞く機会となり、お互いのコミュニケーションも図れたと思います。



大賞作品

受賞作品は HP でご覧ください。

<http://www.oac.or.jp/gcawards2022/>

私の記念日をあなたに。
第6回
想いを伝える
カードデザイン大賞

作品受付期間 2022
8.1 MON - 10.14 FRI | 投票イベント 2022
11.26 SAT

選考委員

 佐藤ねじ 株式会社ブルーパドル代表 プランナー/アートディレクター	 岸田奈美 作家	 岡野大嗣 歌人
---	----------------	----------------

CARD
DESIGN

岸田奈美賞
No.103
林希受
東京都 / 東京府立専門学校

賞状対象
新大塚地区の緑地

作品名
5月1日 (二人組誕生日)

制作の経緯
緑地が、毎朝朝日と風を浴びながら、
市民の憩いの場として活用されることを
願って、緑地を大切にしたいという思いを
込めて制作しました。

【 学生対象コンテスト 】

第 11 回 学生広告クリエイティブアワード

応募学校数：113 校（前回は 120%：前回は 94 校）

高等学校 20 校（前回参加校数 15 校）

専門学校 33 校（前回参加校数 29 校）

大学 60 校（前回参加校数 48 校）

応募総数：1,359 点（前回は 164%：前回は 831 点）

グラフィック作品 1221 点（前回は 728 点）

映像作品 138 点（前回は 103 点）

今回は、全日本空輸(株)、(株)モリサワ、全国浴場組合の 3 社にご協力いただきました。昨年同様、データでの募集いたしました。応募学校数、作品数ともに伸び、初めて一千を超える応募数となりました。

なお、グラフィック作品に関しては課題に沿っていない、企業ロゴが入っていないなどのケースも目立ちました。特に授業課題に取り上げた学校からの応募にその特徴が顕著でした。企業側の課題解決になっているか、ユーザー視点に立っているか、その上で、表現に落とし込んでいるのか、この辺りを更に追求して欲しいものです。

さて、授賞式は今回もオンラインで開催。今回も各企業ごとに分かれて(部屋割りし)受賞した学生さんと企業担当者の方との話し合いの場を設けましたコロナ禍ではありますが、オンラインの良さを活用した、コミュニケーションの場となっています。

今後もデザインの「考え方」を学生の段階から意識してもらい、常にクリエイティブであり続けてもらうために継続してまいります。



受賞作品は HP でご覧ください。

http://www.oac.or.jp/gakusei_award2022/prize.html

第 11 回アイデアで社会をよりよくするコンテスト

応募学校数：60 校（前回比 70%：前回応募校 86）

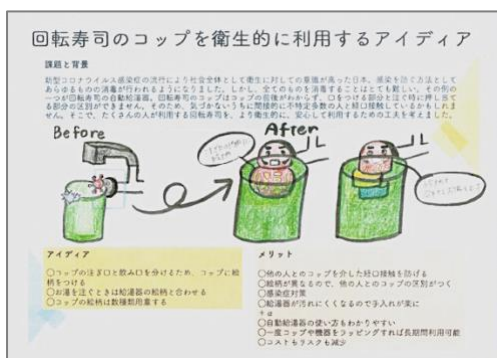
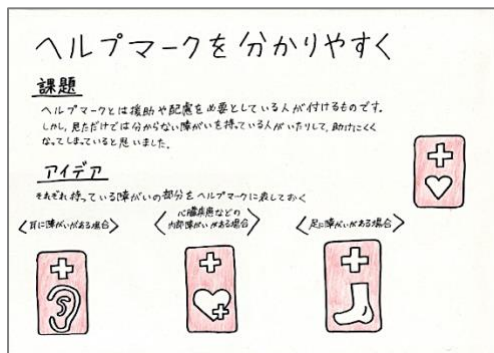
中学校	1 校	（前回参加校数 4 校）
高等学校	31 校	（前回参加校数 43 校）
高等専門学校	1 校	（前回参加校数 0 校）
専門学校	7 校	（前回参加校数 4 校）
大学	20 校	（前回参加校数 34 校）

応募総数：1,016 点（前回比 135%：前回応募数 750）

「自ら課題を見つけ、自ら解決策を考える」をコンセプトに開催している学生向けコンテスト。今回も授業課題として取り上げた学校が多く、コロナ禍にて様々な「体験の場」・「気づきの場」が減少する中、本コンテストのコンセプトが評価されたものと思われ、今回初めて一千を超える応募数となりました。

今回の特徴としては、より身近なものを課題にするケースもあり（『M-1 の「トップバッター」を救いたい』等）、面白い切り口だなと、感じました。また、既に世の中にあるアイデアではありますが、「伝統工芸とガチャ」・「介護・保育施設の統合」・「パチンコ型デイサービス」等、もっと広がりが出てきたら面白いと思える、普及促進型とも言えるアイデアも寄せられていました。アイデアを真似たのではなく、まずはそこに辿りついた視点は評価できるものです。

人間が想像できることは、実現する。そんな言葉もあるようです。そうそう、Chat GPT を試してみました。象が出てくる童話をつくって！と入力すると、瞬時につくってくれます。もちろん、膨大な WEB 上のデータを探し、構築するわけですが、同じ質問でも様々な童話が作成されます。ものは使いようですが、さてこれからの進化はどこまで進み、どんな問題点があるのかも想像しておくべきかもしれません。



受賞作品は HP でご覧ください。

http://www.oac.or.jp/idea_contest_11th/work.html

ココロをつなぐ一行タクシー「人と街にエール!!」

コロナ禍の東京に、届けエール!!

2019年「ココロをつなぐ一行タクシー 東京物語」をテーマに50台/50フレーズをラッピングしたタクシーが夏の東京を走りました。その後のコロナ禍で、開催を見送っていましたが、3年振りに開催することとなりました。この間、タクシー業界も大変な状況が続いていましたが、そのタクシーからコロナ禍の人と街にエールを贈る企画としました。

コピー（フレーズ）の応募総数は、18,173本!

2019年の初開催時の応募コピー数は、5,598本です。なので前回比325%と、大幅な増加を見ました。

人と社会を元気にする「110の言葉」を選考

2022年は、日本でタクシーが営業を開始してから110周年にあたることから、選考するフレーズを110作品、110台のタクシーにラッピングすることに決定。なかなか収束しないコロナ禍だからこそ「言葉」を見かけた方が笑顔で次の一步を踏み出せる、そんな場面を夏の東京に展開いたしました。

東京のタクシー会社保有台数は、約31,000台。その内の110台ですので、280台に1台の確率。出会えた方は何だろう?と思えるでしょうし、また乗車されたお客さまには記念のカードもお渡しし、その価値に気付いていただけるよう工夫もいたしました。

こんな「言葉」が走りました

- 運転手は、今日も在タクワークです。
- ノッテルかい!?乗ってかい?
- 大きく手をあげるあなたが好き
- NO 密な、ひととき。
- 心までマスクしないでいいよ。
- リモートですませられちゃう恋なんて

選出された110の言葉は下記よりどうぞ!

http://www.oac.or.jp/taxi_copy2022/result.html



退職抑止を考える 勉強会

開催日:2022年4月26日(火) OAC 事務局

(内容)

- 社員の幸福度を高める(自己肯定感・存在価値を認める仕組み)
- コロナでの先行き不安・仕事減
- 在宅勤務と会社への帰属意識
- 会社の文化や・雰囲気合う方を採用したい
- 誰かの退職が他の社員へもたらす影響大(負のスパイラル)
- 在宅勤務者:一人になると転職サイト!

事前に上げられた上記内容を踏まえ参加者で意見交換。このコロナ禍は、今後の人生を考えるキッカケになっている社員も多い気がするといった意見。またリモートワークを制度化すべきか、またリモート下での営業をどうすべきか、等々活発な意見交換が続きました。辞めることは、その事情も様々であるが、その前段階として会社としてそれぞれに「裁量と権限」をどう与えていくか、社員のやる気を引き出す仕組みづくりも必要との意見もありました。

会社経営の将来像を探る –後継者問題等–

開催日:2022年6月21日(火) 事務局&ZOOM

(内容)

- 後継者や M&A について
M&A に関しては、文化の全く違う相手の場合はよく検討すべき。
- 次世代幹部の育成について
持ち株の問題は根深くあり、後継者にはお金の心配をせずに引き継いでもらいたいと思う。
等々、経営者としての本音ベースの話合いとなりました。

OAC 雑談ミーティング

開催日:2022年10月25日(火) 16時~18時

会場:㈱Too 3F ギャラリーToo

参加者:30名

会員以外でも参加できる形式にて、経営や人材育成等をテーマに話し合いを行う機会としました。コロナ禍で、今までのように会えない日々が続き、なかなか相談をする機会が得られなかった状況を打破したく、各社の持つ課題を浮き彫りにし、それに対する考え方を知ることで、刺激を得られる場となるよう設計いたしました。

各テーブルの進行役が、机上のテーマカードを引き、それに対して意見交換していきます。

【テーマカード】

コロナ禍の働き方 ・ 仕事はどうやって獲ってくる？
人を育てるには？ ・ 採用するなら、どんな人？ 等々

各テーブルとも活発な意見交換の場となり、コロナ禍の「今」と、今後を考える機会となったようです。



若手クリエイター向けデジタル関連セミナー

公益事業

コロナ禍でますます世の中はデジタル化へ。
OAC 会員社では既にデジタル分野への取り組みは進んでいますが、日々進化する内容を把握いただくべく、賛助会員の Too さんを講師にセミナーを開催しています。

Adobe Illustrator & Photoshop

- 便利と効率と最新情報

開催日:2022年5月27日(金) ZOOM ウェビナー

申込者:150名

https://www.too.com/fun/webinar/adobe-cc/2022oac05.html/field/oac05_mov/

Adobe Illustrator & Photoshop

- 便利と効率と最新情報 Part2

開催日:2022年9月2日(金) ZOOM ウェビナー

申込者:120名

https://www.too.com/fun/webinar/adobe-cc/2022oac09.html/field/oac09_mov/

デザイナー必須の Illustrator & Photoshop ですが、日々進化を続けており、日常で使っているデザイナーでも知らない機能など、その変化に対応してもらい、効率化を図りつつ、企画アイデア面に時間を割いてほしいと企画しています。

「気軽に動画制作！」

アドビのアプリケーションでできること

開催日:2022年10月14日(金) ZOOM ウェビナー

申込者:120名

https://www.too.com/fun/webinar/adobe-cc/2022oac10.html/field/oac10_mov/

学生支援セミナー

公益事業

クリエイティブ業界を目指す学生さんに向けて、会員社の皆さんと賛助会員のユウクリさんにご協力いただき開催いたしました。

教えて先輩! クリエイティブの仕事って面白いの?

開催日:2022年10月21日(金) ZOOM ウェビナー

登壇者

(株)スパイス 田代 溪太氏 (WEB デザイナー)

(有)バウ広告事務所 古味 光子氏 (デザイナー)

(株)アドブレーション 平山弘一郎氏 (デザイナー)

(株)博報堂プロダクツ 三浦 奈津実氏 (コピーライター)

申込者数:163名



東京学生広告研究団体連盟（東広連）支援

公益事業

- 当協会委員会への学生参加・意見交換
- 同団体「第63回学生広告展」審査協力
一次審査(OAC 会員社)
本審査(OAC 事務局長)

講師派遣

公益事業

学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会

専門学校より「専修学校の専門課程における職業実践専門課程の認定に関する規程」に基づく依頼にて、下記の派遣を行いました。

◇ 学校関係者評価委員会

仙台デザイン&テクノロジー専門学校

2022年6月25日・2023年2月12日

溝川誠司 理事

東京コミュニケーションアート専門学校

2022年7月9日 溝川 誠司 理事

東京デザイン専門学校

2022年11月25日 梶原 鉄也 理事

日本電子専門学校

2022年11月28日

(株)ジェイスリー 木下 幸弘氏

◇ 教育課程編成委員会

東京コミュニケーションアート専門学校

2022年9月16日

溝川 誠司 理事

東京デザイン専門学校

2022年10月20日・11月25日

宇垣 恵一 専務理事

日本電子専門学校

2022年9月8日・2023年3月3日

(株)電通クリエイティブ X 田代 宏之氏

溝川 誠司 理事

(株)博報堂プロダクツ 西川 肇氏

町田デザイン&建築専門学校

2022年9月20日・2023年1月14日

(株)エージー 高橋 史倫氏

◇ 講演

町田デザイン&建築専門学校

2023年2月19日 第27回産学ネットワーク展

(株)エージー 高橋 史倫氏

◇ ポートフォリオ講習等

東京コミュニケーションアート専門学校

2023年1月19日

溝川 誠司 理事・(株)ジェイスリー 木下 幸弘氏

日本デザイナー学院

2023年2月13日

溝川 誠司 理事・(株)ジェイスリー 木下 幸弘氏

クリエイターのワクワクは止まらない 2022 最新技術で未来をクリエイティブ！

3年連続となった「design surf seminar」(オンライン開催)への登壇。今回は、最新技術で未来をクリエイティブ！とテーマを決め実施。登壇者には(株)スタジオ・ユニの樋口牧子さん、(株)博報堂プロダクツ佐藤翔吾さん、そして三井化学株式会社で「空中ディスプレイ」の開発に携わる吉田寛則さんをお願いいたしました。

- 感じるチカラ 何かを生み出すキッカケとは？
- 最新技術と未来 メタバース・センサーグローブ・非接触/空中ディスプレイ
- 最新技術とクリエイター 開発者側はクリエイターに何を求める？

この辺りを中心とし、最新技術とクリエイティブの掛け算で膨らむ世界を語っていただきました。



<https://global.too.com/dsurf-online/report/design-surf-seminar-2022/001131.html>

調査・研究

公益事業

◇ セーフティネット 5 号保証調査への協力

コロナ禍で経営状況業況の悪化している業種に対しての貸付を行うセーフティネット 5 号保証。

当協会では日本標準産業分類（4151: 広告制作業）において調査を実施。今期は 2022 年 4 月・8 月・10 月及び 2023 年 2 月と 4 回にわたり実施いたしました。

◇ アフターコロナを考えるアンケート調査

— コロナ禍を経ての現状確認と今後について —

2020 年 1 月 15 日に国内で初めての感染者が出て以来、3 年が経過。この 3 年を経て、現状はどうか。また経験したことによって変わったこと、そして今後はどうあるべきなのか、アンケートを実施。42 社より回答を得ました。集計結果は会員社に公表し、共有しています。

情報交流

公益事業

広告関係 23 団体との情報交換に参加。全てオンラインでの開催となりました。こちらもコロナ禍での運営方法や各団体所属企業の動向などが報告されました。

出版・広告

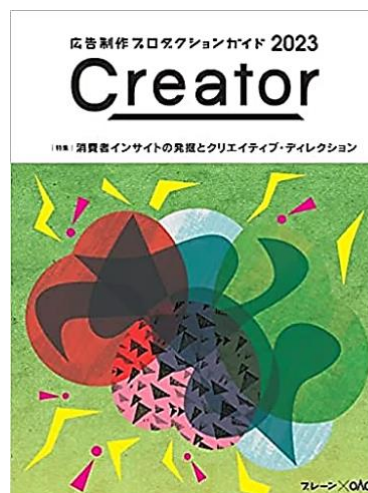
収益事業

CREATOR2023 誌 発刊

今号の出稿会員社は、

- ◇ 記事体広告 27 社 <前号 27 社: 増減なし>
 - ◇ 純広告 7 社 <前号 8 社: 1 社減>
 - ◇ 個人クリエイター紹介頁 1 社 <前号 1 社: 増減なし>
- となりました。

今後も自社のブランディング向上とその周知に、今後もお役立ていただければと思います。



会員企業相互の発展に向けて

その他、公益事業

広告制作会社向け E&O 保険

現在 20 社の会員社が加入している E&O 保険（Errors「過失」、Omissions「怠慢」の略）。本年度の事務手数料は 278,302 円となり、公益事業収入に割り振っています。

コンテンツ東京 2022 後援

開催期間: 2022 年 6 月 29 日 (水) ~ 7 月 1 日 (金)
開催場所: 国際展示場 (東京ビッグサイト東展示棟)

【本年度、実施出来なかった収益等事業】

- 賃金実態調査

2022年度 委員会・理事会 開催状況

	経営委員会	未来価値開発委員会	クリエイティブ委員会	広報委員会	理事会
時間帯	11:00~12:00	17:00~18:00	17:00~18:00	17:00~18:00	17:00~18:00
4月	4月26日(火)	4月12日(火)	4月14日(木)	4月27日(水)	4月21日(木)
5月		5月17日(火)	5月18日(水)	5月26日(木)	
6月	6月3日(金) 16時 第34回定例総会(OAC事務局&ZOOM)				6月3日(金) 15時
	6月21日(火)	6月14日(火)	6月16日(木)	6月23日(木)	
7月		7月12日(火)	7月14日(木)	7月21日(木)	7月21日(木)
8月	8月30日(火)			8月26日(金)	
9月		9月6日(火)	9月8日(木)		9月15日(木)
10月	10月25日(火)	10月4日(火)	10月6日(木)	10月6日(木)	
11月		11月8日(火)	11月28日(月)		11月17日(木)
12月	12月13日(火)	12月6日(火)	12月20日(木)	12月12日(月)	
2023年1月	1月19日(木)	1月17日(火)	1月20日(金)		1月26日(木)
2月	2月9日(木)	2月14日(火)	2月16日(木)	2月24日(金)	2月16日(木) 16時
3月	3月30日(木)	3月14日(火)	3月23日(木)		3月16日(木)

※ 10月25日(火)はOAC 雑談ミーティングを開催

※ 経営委員会の8月・2月・3月は、次年度事業に関する打合せを委員会幹部にて実施

経営委員会の勉強会はリアル開催。他の委員会はオンラインとリアルのハイブリッド方式での開催を目指しましたが、圧倒的にオンラインでの参加が目立ちました。コミュニケーションの観点から、リアルを望む声が上がってはいたものの、なかなかリアルでの参加は難しかったようです。

コロナ禍に突入してから、各委員会とも参加者数が減少しているのも特徴です。

今後もこの傾向は続きそうですので、どうしたら参加したくなるか、今後の課題としてともに考えていきたいと思います。

2022 年度決算報告及び監査報告 承認の件

貸借対照表	20
財産目録	21
正味財産増減計算書	22・23
正味財産増減計算書 内訳表	24・25
財務諸表に対する注記	26
附属明細書	27
事業報告附属明細書	28
監査報告	29

貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	20,119,108	20,084,613	34,495
未収会費	120,000	60,000	60,000
未収入金	0	500	△ 500
前払費用	353,048	353,048	0
流動資産合計	20,592,156	20,498,161	93,995
2. 固定資産			
1) 特定資産			
預り保証金特定預金	2,000,000	2,100,000	△ 100,000
退職給付特定預金	1,275,000	850,000	425,000
50周年事業特定預金	3,000,000	2,000,000	1,000,000
2) その他固定資産			
敷金・保証金	2,000,000	2,000,000	0
固定資産合計	8,275,000	6,950,000	1,325,000
資産合計	28,867,156	27,448,161	1,418,995
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	14,543	△ 14,543
未払費用	30,646	28,358	2,288
預り金	248,916	221,034	27,882
賞与引当金	0	0	0
流動負債合計	279,562	263,935	15,627
2. 固定負債			
退職給付引当金 (役員用積立額)	1,275,000	850,000	425,000
預り保証金	2,000,000	2,100,000	△ 100,000
長期未払金	0	0	0
固定負債合計	3,275,000	2,950,000	325,000
負債合計	3,554,562	3,213,935	340,627
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	25,312,594	24,234,226	1,078,368
負債・正味財産合計	28,867,156	27,448,161	1,418,995

財産目録

2023年3月31日現在

(単位：円)

科 目	場所・物量・内容等	使用目的等	金 額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			(20,119,108)
	現金手許有高	運転資金として	121,979
	普通預金 みずほ銀行 赤坂支店	運転資金として	6,503,692
	普通預金 みずほ銀行 銀座中央支店	税金取扱い口座として	240,667
	普通預金 三井住友銀行 赤坂支店	会費自動振替分として	12,252,770
	定期預金 みずほ銀行 銀座中央支店	運転資金として	1,000,000
未収会費			(120,000)
	2022年度会費 (賛助会員2社)	会費	120,000
未収入金			(0)
前払費用			(353,048)
	銀座吉澤ビル賃料 (2023年4月分) 家賃		353,048
流動資産合計			20,592,156
2. 固定資産			
1) 特定資産			
預り保証金特定預金	定期預金 みずほ銀行 銀座中央支店	退会時返却用の預り金 (20社分)	(2,000,000)
退職給付特定預金	普通預金 みずほ銀行 銀座中央支店	退職給付引当金口座として	(1,275,000)
50周年事業特定預金	普通預金 みずほ銀行 銀座中央支店	50周年記念事業として	(3,000,000)
2) その他固定資産			
敷金・保証金	銀座吉澤ビル敷金・保証金	共用財産であり、公益事業に80%、 収益事業に10%、その他事業に3%、 法人管理運営費に7%を充てている	(2,000,000)
固定資産合計			8,275,000
資産合計			28,867,156
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			(0)
			0
未払費用			(30,646)
	㈱大塚商会 3月分		21,450
	ヤマト運輸発送代 (3月分)		9,196
預り金			(248,916)
	社会保険料 (3月分)		86,594
	所得税 (3月分)		129,178
	市区民税 (3月分)		19,500
	源泉所得税204条 (3月分)		13,644
流動負債合計			279,562
2. 固定負債			
退職給付引当金			(1,275,000)
			1,275,000
預り保証金			(2,000,000)
	正会員 (20社分)		2,000,000
固定負債合計			3,275,000
負債合計			3,554,562
正味財産合計			25,312,594

正味財産増減計算書

2022年4月1日～2023年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
I. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	25	55	△ 30
特定資産運用益計	25	55	△ 30
受取会費等			
正会員受取会費	15,330,000	16,740,000	△ 1,410,000
賛助会員受取会費	7,410,000	7,590,000	△ 180,000
新正会員受取会費	60,000	0	60,000
新正会員受取入金	50,000	0	50,000
新賛助会員受取会費	40,000	30,000	10,000
受取会費等計	22,890,000	24,360,000	△ 1,470,000
事業収益			
広告料収益	3,410,000	3,685,000	△ 275,000
販売収益	1,000	34,500	△ 33,500
事業収益計	3,411,000	3,719,500	△ 308,500
受取寄付金			
受取寄付金振替額	0	0	0
受取寄付金計	0	0	0
雑収益			
受取利息	235	238	△ 3
雑収益	1,845,802	331,125	1,514,677
雑収益計	1,846,037	331,363	1,514,674
経常収益計	28,147,062	28,410,918	△ 263,856
(2) 経常費用			
事業費			
1. 人件費			
役員報酬	4,845,000	4,845,000	0
給与手当	4,703,760	4,703,760	0
賞与	126,900	0	126,900
法定福利費	798,938	803,730	△ 4,792
人材派遣費(事務局1名)	2,709,074	2,478,018	231,056
役員退職金積立	403,750	403,750	0
人件費計	13,587,422	13,234,258	353,164
2. 事務所関係費			
家賃	3,770,554	3,770,553	1
水道光熱費	255,456	191,951	63,505
事務所関係費計	4,026,010	3,962,504	63,506
3. 諸費			
通勤交通費	376,582	366,985	9,597
会議費	38,000	36,620	1,380
図書費	5,665		
旅費交通費	196,374	203,548	△ 7,174
通信運搬費	147,496	171,804	△ 24,308
事務消耗品費	272,224	451,837	△ 179,613
広告宣伝費	238,400	93,500	144,900
制作費	0	110,000	
印刷費	193,539	296,631	△ 103,092
支払手数料(ZOOM&ウェビナー)	146,300	36,653	
リース料	192,132	230,148	△ 38,016
諸謝金	259,411	276,233	△ 16,822
諸会費	60,000	60,000	0
委託費	2,340,800	2,533,300	△ 192,500
サイト運営費	1,511,349	1,511,349	0
修繕費	118,800	154,660	△ 35,860
雑費	50,000	50,000	0
諸費計	6,147,072	6,583,268	△ 436,196
事業費計	23,760,504	23,780,030	△ 19,526

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
管理費			
1. 人件費			
役員報酬	255,000	255,000	0
給与手当	300,240	300,240	0
賞与	8,100	0	8,100
法定福利費	50,995	51,303	△ 308
人材派遣費	334,830	306,272	28,558
役員退職金積立	21,250	21,250	0
人件費計	970,415	934,065	36,350
2. 事務所関係費			
家賃	466,022	466,023	△ 1
水道光熱費	31,572	23,724	7,848
事務所関係費計	497,594	489,747	7,847
3. 諸費			
福利厚生費(防災用品・常備薬)	36,907	0	36,907
通勤交通費	24,036	23,425	611
会議費	6,000	0	6,000
図書費	70,400	69,880	520
旅費交通費	41,996	0	41,996
通信運搬費	121,433	120,455	978
事務消耗品費	136,909	102,065	34,844
渉外費	17,600	96,800	△ 79,200
印刷費	7,640	8,390	△ 750
支払手数料	351,350	212,265	139,085
支払報酬	873,864	873,864	0
リース料	13,596	13,596	0
公租公課	72,450	71,850	600
修繕費	66,000	66,000	0
雑費	0	17,380	△ 17,380
諸費計	1,840,181	1,675,970	164,211
管理費計	3,308,190	3,099,782	208,408
経常費用計	27,068,694	26,879,812	188,882
評価損益等調整前当期経常増減額	1,078,368	1,531,106	△ 452,738
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,078,368	1,531,106	△ 452,738
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,078,368	1,531,106	△ 452,738
当期一般正味財産増減額	1,078,368	1,531,106	△ 452,738
一般正味財産期首残高	24,234,226	22,703,120	1,531,106
一般正味財産期末残高	25,312,594	24,234,226	1,078,368
II 指定正味財産増減の部			
寄付金	0	0	0
受取寄付金計	0	0	0
特定資産受取利息	25	55	△ 30
特定資産運用益計	25	55	△ 30
一般正味財産への振替額	25	55	△ 30
一般正味財産への振替額計	△ 25	△ 55	30
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	25,312,594	24,234,226	1,078,368

正味財産増減計算書 内訳表

2022年4月1日～2023年3月31日まで

(単位：円)

科目	2022年度 実績	2022年度 予算	増減	2022年度公益目的事業		2022年度収益等事業			法人会計
				公1	(合計)	収1	共益	(合計)	
I 一般正味財産増減の部									
I. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
特定資産運用益	25	0	25		0			0	25
特定資産受取利息	25	0	25		0			0	25
受取会費等 (※1)	22,890,000	23,220,000	△ 330,000	16,023,000	16,023,000	0	1,144,500	1,144,500	5,722,500
正会員受取会費	15,330,000	15,720,000	△ 390,000	10,731,000	10,731,000		766,500	766,500	3,832,500
賛助会員受取会費	7,410,000	7,500,000	△ 90,000	5,187,000	5,187,000		370,500	370,500	1,852,500
新正会員受取会費	60,000	0	60,000	42,000	42,000		3,000	3,000	15,000
新正会員受取入会金	50,000	0	50,000	35,000	35,000		2,500	2,500	12,500
新賛助会員受取会費	40,000	0	40,000	28,000	28,000		2,000	2,000	10,000
事業収益合計	5,257,037	4,520,000	737,037	1,568,500	1,568,500	3,410,000	278,302	3,688,302	235
広告料収益合計	3,410,000	3,260,000	150,000	0	0	3,410,000	0	3,410,000	0
CREATOR2023 会員社員掲載料	2,420,000	2,200,000	220,000		0	2,420,000		2,420,000	
CREATOR2023 広告掲載料	924,000	1,000,000	△ 76,000		0	924,000		924,000	
OACサイトバナー広告	66,000	60,000	6,000		0	66,000		66,000	
販売収益	1,000	0	1,000	1,000	1,000			0	0
三陸鉄道カレンダー販売収益	1,000	0	1,000	1,000	1,000			0	
雑収入	1,846,037	1,260,000	586,037	1,567,500	1,567,500	0	278,302	278,302	235
受取利息	235		235		0			0	235
OAC総合賠償責任保険事務手数料	278,302	200,000	78,302		0		278,302	278,302	
タクシー協会 協賛金	1,567,500	1,060,000	507,500	1,567,500	1,567,500		0	0	
【経常収益計】	28,147,062	27,740,000	407,062	17,591,500	17,591,500	3,410,000	1,422,802	4,832,802	5,722,760
(2) 経常費用									
<事業費>									
人件費	13,587,422	13,298,350	289,072	13,226,106	13,226,106	180,658	180,658	361,316	0
役員報酬	4,845,000	4,845,000	0	4,845,000	4,845,000	0	0	0	
給料手当	4,703,760	4,703,760	0	4,503,600	4,503,600	100,080	100,080	200,160	
期末賞与	126,900		126,900	121,500	121,500	2,700	2,700	5,400	
法定福利費	798,938	809,340	△ 10,402	764,938	764,938	17,000	17,000	34,000	
人材派遣費	2,709,074	2,536,500	172,574	2,587,318	2,587,318	60,878	60,878	121,756	
役員退職金積立	403,750	403,750	0	403,750	403,750	0	0	0	
事務所関係費	4,026,010	3,969,400	56,610	3,845,064	3,845,064	90,473	90,473	180,946	0
家賃	3,770,554	3,773,600	△ 3,046	3,601,090	3,601,090	84,732	84,732	169,464	
水道光熱費	255,456	195,800	59,656	243,974	243,974	5,741	5,741	11,482	
諸費	6,147,072	7,302,400	△ 1,155,328	3,752,714	3,752,714	2,368,965	25,393	2,394,358	0
通勤交通費	376,582	432,400	△ 55,818	360,556	360,556	8,013	8,013	16,026	
会議費	38,000	20,000	18,000	38,000	38,000				
会場費	0	500,000	△ 500,000	0	0				
図書費	5,665	0	5,665	5,665	5,665				
旅費交通費	196,374	200,000	△ 3,626	196,374	196,374				
通信運搬費	147,496	186,000	△ 38,504	144,724	144,724	2,772		2,772	
事務消耗品費	272,224	145,000	127,224	272,224	272,224				
広告宣伝費	238,400	325,000	△ 86,600	238,400	238,400				
制作費	0	30,000	△ 30,000	0	0				
渉外費	0	200,000	△ 200,000	0	0				
印刷費	193,539	423,000	△ 229,461	193,539	193,539				
支払手数料 (ZOOM2・ウェビナー)	146,300	110,000	36,300	146,300	146,300				
リース料	192,132	221,000	△ 28,868	163,312	163,312	14,410	14,410	28,820	
諸謝金	259,411	350,000	△ 90,589	259,411	259,411				
諸会費	60,000	60,000	0	60,000	60,000				
委託費	2,340,800	2,240,000	100,800		0	2,340,800		2,340,800	
サイト運営費	1,511,349	1,470,000	41,349	1,511,349	1,511,349				
修繕費	118,800	210,000	△ 91,200	112,860	112,860	2,970	2,970	5,940	
雑費	50,000	180,000	△ 130,000	50,000	50,000				
事業費計	23,760,504	24,570,150	△ 809,646	20,823,884	20,823,884	2,640,096	296,524	2,936,620	0

(単位：円)

科目	2022年度 実績	2022年度 予算	増減	2022年度公益目的事業		2022年度収益等事業			法人会計
				公	(合計)	収	共益	(合計)	
管理費									
人件費	970,415	941,650	28,765	0	0	0	0	0	970,415
役員報酬	255,000	255,000	0	0	0	0	0	0	255,000
給与手当	300,240	300,240	0	0	0	0	0	0	300,240
期末賞与	8,100	0	8,100	0	0	0	0	0	8,100
法定福利費	50,995	51,660	△ 665	0	0	0	0	0	50,995
人材派遣費	334,830	313,500	21,330	0	0	0	0	0	334,830
役員退職金積立	21,250	21,250	0	0	0	0	0	0	21,250
事務所関係費	497,594	490,600	6,994	0	0	0	0	0	497,594
家賃	466,022	466,400	△ 378	0	0	0	0	0	466,022
水道光熱費	31,572	24,200	7,372	0	0	0	0	0	31,572
諸費	1,840,181	1,737,600	102,581	0	0	0	0	0	1,840,181
福利厚生費(防災用品・常備薬)	36,907	30,000	6,907	0	0	0	0	0	36,907
通勤交通費	24,036	27,600	△ 3,564	0	0	0	0	0	24,036
会議費	6,000	0	6,000	0	0	0	0	0	6,000
図書費	70,400	75,000	△ 4,600	0	0	0	0	0	70,400
旅費交通費	41,996	0	41,996	0	0	0	0	0	41,996
通信運搬費	121,433	185,000	△ 63,567	0	0	0	0	0	121,433
事務消耗品費	136,909	100,000	36,909	0	0	0	0	0	136,909
渉外費	17,600	53,000	△ 35,400	0	0	0	0	0	17,600
印刷費	7,640	10,000	△ 2,360	0	0	0	0	0	7,640
支払手数料	351,350	230,000	121,350	0	0	0	0	0	351,350
支払報酬	873,864	874,000	△ 136	0	0	0	0	0	873,864
リース料	13,596	14,000	△ 404	0	0	0	0	0	13,596
公租公課	72,450	73,000	△ 550	0	0	0	0	0	72,450
修繕費	66,000	66,000	0	0	0	0	0	0	66,000
管理費計	3,308,190	3,169,850	138,340	0	0	0	0	0	3,308,190
【経常費用計】	27,068,694	27,740,000	△ 120,188	20,823,884	20,823,884	2,640,096	296,524	2,936,620	3,308,190
*事業比率	100%				76.9%	9.8%	1.1%	10.9%	12.2%
【評価損益等調整前当期経常増減額】	1,078,368	0	1,078,368	△ 3,232,384	△ 3,232,384	769,904	1,126,278	1,896,182	2,414,570
【評価損益等計】									
【当期経常増減額】	1,078,368	0	1,078,368	△ 3,232,384	△ 3,232,384	769,904	1,126,278	1,896,182	2,414,570
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
【経常外収益計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
【経常外費用計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【当期経常外増減額】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【他会計振替額計】(※2)	0			948,091	948,091	△ 384,952	△ 563,139	△ 948,091	0
【当期一般正味財産増減額】	1,078,368		1,078,368	△ 2,284,293	△ 2,284,293	384,952	563,139	948,091	2,414,570
【一般正味財産期首残高】	24,234,226	22,703,120	1,531,106	△ 25,454,556	△ 25,454,556	△ 2,060,386	6,156,051	4,095,665	45,593,117
【一般正味財産期末残高】	25,312,594	24,234,226	1,078,368	△ 27,738,849	△ 27,738,849	△ 1,675,434	6,719,190	5,043,756	48,007,687
II 指定正味財産増減の部									
受取寄付金計									
寄附金	0			0	0				
特定資産運用益計	55								55
特定資産受取利息	55								55
一般正味財産への振替額計									△ 55
寄附金 振替額	0			0	0				
特定資産受取利息 振替額	△ 55								△ 55
【当期指定正味財産増減額】	0	0	0						
【指定正味財産期首残高】	0	0	0						
【指定正味財産期末残高】	0	0	0						
III 正味財産期末残高	25,312,594	24,234,226	1,078,368	△ 27,738,849	△ 27,738,849	△ 1,675,434	6,719,190	5,043,756	48,007,687

会費の割振り(※1)	22,890,000
公益事業	70% 16,023,000
収益事業	0% 0
共益事業	5% 1,144,500
法人会計	25% 5,722,500

【他会計振替額について】(※2)

他会計振替額は、収益・共益事業の当期経常増減額(収益事業 769,904円・共益事業 1,126,278円：合計 1,896,182円)の各々50%(合計 948,091円)を公益事業に振替えています。

事業比率について

公益目的事業 76.9%・収益等事業 10.9%
法人会計 12.2%となりました。

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

法人税法に基づく旧定率法及び定率法を採用しております。

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金 …………… 職員の賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち
当期負担分を計上しております。

退職給付引当金 …………… 職員の退職に備えるため、期末要支給額の全額を計上して
おります。

(3) 消費税等の会計処理税込方式によっております。

2. 指定正味財産から一般正味財産への振替額について

退職給付金口座・50周年事業特定預金口座の利息額 25 円を振替えています。

3. 特定資産の増減額及びその残高

次頁の附属明細書のとおりであります。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

	資産の種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価格
特定資産	退職給付特定預金	850,000	425,000	0	1,275,000
	預り保証金特定預金	2,100,000	0	100,000	2,000,000
	50周年事業特定預金	2,000,000	1,000,000	0	3,000,000
特定資産合計		4,950,000	1,425,000	100,000	6,275,000

※ 預り保証金特定預金:2003年3月以前に入会された正会員は入会に関する保証金として10万円を預かり退会時返金することになっており、2022年4月(株)電通テック(現電通プロモーションプラス)が組織変更、営業会社への移行に伴い退会。

※ 50周年事業特定預金は、クリエイター展覧会企画「みなおしたぜ！ニッポン」展の開催に充てています。

2. 特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対する額
退職給付特定預金	1,275,000	0	1,275,000	1,275,000
預り保証金特定預金	2,000,000	0	2,000,000	2,000,000
50周年事業特定預金	3,000,000		3,000,000	3,000,000
特定資産合計	6,275,000	0	6,275,000	6,275,000

事業報告附属明細書

➤ 正味財産増減計算書（内訳表）会費の振り分けに関して

本年度も昨年度に引続きコロナ禍での運営となりました。

本年度も、公益目的事業での実質費用は昨年度とほぼ同等となり、会費の振り分けは昨年同様の以下の通りとした。

公益目的事業 70%（前年度:70%）

共益目的事業 5%（前年度:5%）

法人会計 25%（前年度:25%）

➤ 正味財産増減計算書（内訳表）費用配布割合に関して

事業報告に記載した通り、2022年度はほぼ公益事業に費やした年となりました。公益法人では費用項目を公益目的事業・収益等事業・法人会計に按分して記載（人件費等はその事業への従事した割合・家賃等ははその事業に使用している割合・そしてある事業に直接関連するものは直接費用）としています。

本年度も公益事業等での費用額が減少。しかし逆に協会内（会員社の皆さんの協力や事務局）の業務量は増加しました。ZOOMを主体とするセミナー準備（シナリオ作成・集客告知作成）や各種情報の収集・発信、学生向けコンテスト等でのデータ整理等、外部に依頼することなく実施していたのが実際です。

本年度もこの実態に合わせ配布割合は昨年同様とし、以下のように按分いたしました。

		公益目的事業	収益等事業	共益事業	法人会計	
人 件 費	専務理事	95%	0%	0%	5%	従事割合
	事務局長	90%	2%	2%	6%	従事割合
	派遣:経理・総務	85%	2%	2%	11%	従事割合
家賃	家賃・光熱費	85%	2%	2%	11%	使用割合
	通勤交通費	90%	2%	2%	6%	従事割合

※リース料は従来の割合を踏襲し、その他の費用は、ある事業に関連した直接対応費用となっています。

➤ 50周年事業特定預金に関して

2023年度事業計画に記しておりますが、2024年5月17日（金）～19日（日）に掛けて、渋谷ヒカリエ8階8/COURTにてクリエイターの皆さんの発表の場として「みなおしたぜ！ニッポン」展を開催いたします。

本事業は、予め積立てた費用にて執り行い積立限度額は300万と設定しています。

内容・費用概算につきましては、2023年度事業計画でご確認ください。

監査報告

公益社団法人 日本広告制作協会
理事長 佐藤 文則 殿

2023 年 4 月 14 日

公益社団法人 日本広告制作協会
監事 田村 壽孝



監事 村上 健



私たちは、2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までの 2022 年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告します。

1 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討しました。
- (2) 業務監査について、理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討しました。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく示していると認めます。
- (2) 事業報告の内容は正しく記載されていると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は、法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

2023 年度 事業計画

公益社団法人 日本広告制作協会

運営方針

新たな OAC を創造するための 1 年に！

来年 2024 年は、OAC 創立 50 周年。従来培ってきたクリエイティブ・ボランティア活動（クリボラ）や、会員社間のヨコの繋がりを構築する活動など良い面は残しつつ、更なる一步を踏み出すための検討ならびに実践を重ねる 1 年にし、その本質に基づき事業を展開してまいります。OAC の経営者層も幅広い年代がいらっしゃると思いますが、50 代～60 代半ばがボリュームゾーンかもしれません。

その方々の会社運営の一助になり、今後を支える人材の育成をサポートする存在になれるよう努めてまいります。

人材育成面に関しては若手・中堅社員（クリエイター・プロデューサー等を問わず）の育成と、そのモチベーションの向上に主眼を置き、各社の発展をサポート、また今後の OAC を牽引する人材を見出し、更なる活性化を進めてまいります（従来通り経営者ならびに会社運営に役立つ内容は継続しつつ、次世代の育成に主眼を置く活動に努めます）。

3 年ビジョン（2023 年～2025 年）

- デザインの価値を再認識し、更に向上させ、広告会社、コンサル会社、IT 会社等と対等以上に渡り合え、且つそれを基にアウトプットできる強みを磨く。
- 企て、設計するデザイン・クリエイティブの考え方を会員社クリエイターと共に学び、デザイン・クリエイティブを通じて、企業活動にそして社会に貢献できる人材を育成する。
- 会員社メリットの充実を図り、2027 年には正会員 100 社・賛助会員 80 社を目指す。

これらを実現するために、本年度は

- 「クリエイターの発表の場」創設（クリエイターのモチベーション向上）
- 「会員各社の強みの可視化と各社協働体制で仕事に向かえる仕組みづくり」
- 「会員資格や会費制度の見直し（新たな会員社の発掘に向けて）」

等を検討してまいります。

また、本年度実行していく各事業に関しても、デザイン思考に基づき本質を追求し、また会員各社の個々人にとって有益なものになるよう努めてまいります。

クリエイティブを活かし、育む (クリエイティブ・ボランティア事業)	公益	収益	共益
三陸沿岸支援カレンダー制作	○		
「ココロはずむ一行タクシー 東京の街にくりだそう」 (東京ハイヤー・タクシー協会とのコラボレーション)	○		
想いを伝えるカードデザイン大賞 2023	○		
学生広告クリエイティブアワード 2023	○		
学生アイデアで社会をよりよくなるコンテスト 2023	○		
クリエイター展覧会企画の実施・運営	○		

経営と人材の育成のために

経営セミナー・勉強会の実施	○		
若手クリエイターを中心としたデジタル系セミナーの開催	○		
ヨコの繋がりの強化を図り、課題解決に向かう (一般公開の交流会形式)	○		
学生支援セミナーの開催	○		
講師派遣・学生広告団体（東広連）支援	○		
経営状況等各種アンケートの実施とその共有	○		
広告関係団体との情報交換	○		
広告のこれからについて座談会（OAC50周年に向けて）	○		

会員企業相互の発展のために

CREATOR 誌の監修		○	
E&O 保険			○
会員社の強みの可視化			○

クリエイティブを活かし、育む

1. 三陸鉄道ならびに沿岸市町村支援カレンダー制作（三陸鉄道イーハトーブカレンダー2024）

本年も地域活性化と観光促進を目的に、三陸鉄道沿線市町村ならびに三陸鉄道の支援を継続いたします。昨年は、よりお客様に届きやすくするために、サイズを縮小。三陸鉄道での取り扱い数の1,200部はほぼお客様の手に渡ったようです。

本年は、宮沢賢治の詩や童話を題材に作品を公募します。鉄道ファンのみならず、宮沢賢治ファンや童話・絵本好きの方にも、三陸に目を向けるキッカケをつくってまいります。

2. 「ココロはずむ一行タクシー」（東京ハイヤー・タクシー協会とのコラボレーション）

昨年2022年はコロナ禍で疲弊した全ての方々が少しでも元気になるようにと、「ココロをつなぐ一行タクシー“人と街にエール!!”と題して110コピー/110台のタクシーが夏の東京を走りました。本年は、予算の都合で規模を大幅に縮小するが、「一行タクシー」を継続し根付かせたいとの思いがタクシー協会にあり、実施が決定いたしました。テーマは「ココロはずむ一行タクシー 東京の街にくりだそう」。

10台～20台のタクシーになりそうですが、その少なさを希少価値のあるものとして捉えてもらえ、仕組みを模索してまいります。

3. 第7回 想いを伝えるカードデザイン大賞2023

このカードデザイン大賞は、全国の学生の方、一般の方の応募が多いのが特徴です。学生の皆さんも、リモートでの授業から対面での授業に変わってきている模様。様々な経験や体験を通して感じたことを、どう表現してくれるのか楽しみです。

4. 第12回 OAC 学生広告クリエイティブアワード2023

実際の商品を題材にして課題解決の能力を若い時代から体験してもらおうと、課題提供企業の協力の下に開催しており、昨年は応募総数1,359点と過去最高数を記録しました。

しかし課題に沿っていない作品も多く、届ける相手のこと、課題の本質を理解する段階を踏み、その上で表現に入ることの重要性を理解して取り組んで欲しいと願っています。よりコミュニケーション力を身に付けていく場として、本アワードの更なる充実を図ってまいります。

5. 第12回 OAC 学生アイデアで社会をよりよくするコンテスト2023

自ら課題を考え、自らその課題解決策を考える。そんなクリエイティブな行為を若いうちから実践してもらい、今後の人生に役立ててもらいたいのが願いです。昨年は過去最高の1,016アイデアが寄せられました。各学校が課題として活用しているようです。今後も、若い方々が常に問題意識を持ち、前進していけるようサポートしてまいります。

6. クリエイター展覧会企画の実施・運営（2024年 OAC50周年記念事業）

一般や学生支援の事業は多いが、クリエイターのモチベーション向上に繋がる事業も検討してほしい。そんな会員社の声を受け、また50周年に合わせて、クリエイターの展覧会企画を計画。下記の展示目的が渋谷ヒカリエのコンセプトに合致すると考え、公募展企画を提出。採用に至りました。

【開催目的】

○ クリエイターの発表の場の創設とその育成

全国の広告クリエイター（デザイナー・コピーライター・カメラマン等）及び広告を学ぶ学生の発表の場とし（公募制）、広告手法等を通じ社会に貢献することにより、クリエイティブの価値を高め、クリエイター個々のモチベーションの向上にも寄与する。

○ 地域・文化支援

クリエイティブ・ボランティア（クリボラ）事業の一環として、コロナ禍での「移動」が激減した中、日本のモノ・コト・ヒト・景観等々に今一度目を向けてもらうべく、その良さを広告手法等を用いて表現。これを観た方々が、実際にその場所に足を運んでみたり、触れてみる、そんな次の一步を踏み出すキッカケを創出する（観光等にて全国の地域や文化の活性化の一助を目指す）。

○ 多様性を認め合える社会の創出

ニッポンの何をみなおすのかはクリエイターそれぞれの視点。クリエイターA氏の選んだ「好き」は、あなたの選んだ「好き」とは違うかもしれませんが、それも『ニッポン』の多様性。『ニッポン』の良さを再認識し、様々な『多様性』を理解する、そんな内容を目指します。

【開催時期】

2024年5月17日～19日（金・土・日の3日間）で実施。

【開催場所】

渋谷ヒカリエ 8F 8/court

【開催コンセプト】

あなたの視点でニッポンの良さを見つけ、広告クリエイティブのチカラで表現し、伝え、再認識してもらう場

【タイトル案】

『みなおしたぜ、ニッポン』展（仮称）

なお、本事業は2024年度の実施となり、特定費用準備資金として積立てる資金にて執り行います。費用概算は2023年3月開催の理事会にて承認を得た300万を積立限度額といたします。

クリエイター展覧会企画 『みなおしたぜ、ニッポン』展（仮称） 費用概算

	項目	単価	数量			区分小計	
会場費	渋谷ヒカリエ 8/COURT 172㎡（メインスペース）平日	80,000	3	日	240,000	240,000	
会場設備	基本設備管理料金 照明設備 映像・音響設備 展示台（400×400×h770mm 保有数8台） 展示台（1000×1000×h700mm 保有数3台） 展示台（1000×1000×h500mm 保有数3台） 移動式DLPプロジェクター 机（来場者お絵かき用） 事務机 椅子（100脚まで無）	35,000 20,000 50,000 30,000 10,000 1,000 1,000 	3 3 3 3 3 6 5 	日 日 日 日 日 台 台 	105,000 60,000 150,000 90,000 30,000 6,000 5,000 	5台以上 	446,000
展示制作	展覧会パネル製作（大：メイン用） B1出力費（パネル付き）配送も 説明パネル 映像編集（会員社ボランティア？）	50,000 10,000 2,860 	1 50 50 	枚 枚 枚 	50,000 500,000 143,000 	693,000	
施工	展示壁 パーテションレンタル1200×2100） 施工	5,000	40	枚	200,000 600,000	800,000	
撤去配送					50,000	50,000	
図録印刷	64P 300部として（制作は会員社ボランティア）					200,000	
チラシ印刷	募集告知用 開催告知用		3,000 2,000	部 部	6,000 5,000	11,000	
ポスター印刷	開催告知用 B1		300	部	50,000	50,000	
上記郵送代	募集告知用 500か所として 開催告知用	250 250	300 200	箇所 箇所	75,000 50,000	125,000	
告知広告費	開催告知（PRTIMES）				36,000	36,000	
会場要員	アルバイト人件費（1日6名×3日×1500(h) 延べ18名）	40,500	3	日	121,500	121,500	
ユニフォーム	スタッフ Tシャツ	2,500	20	枚	50,000	50,000	
			小計		2,622,500		
			消費税	10%	262,250		
			合計		2,884,750		

経営と人材の育成のために

1. 経営セミナー・勉強会の実施

コロナ禍にてオンラインでの意見交換を中心にしてきましたが、本年度はリアルとオンラインを併用しながら、今後の経営のあり方や、デジタルトランスフォーメーション（DX）、ウエルビーイング、アフターコロナ後の企業戦略などを知る機会を設けます。

- 4月18日（火） 16時～（会場：㈱スタジオ・ユニ）
クリエイター社員の可能性を信じて新領域進出へ【講師：㈱スタジオ・ユニ 佐藤社長・小笠原氏】
- 6月21日（水） 17時～（会場：株式会社 Too）
ユーザー視点のサービスデザインとDX【講師：デジタル庁外山雅暁氏】
- 6月頃（予定：名古屋開催）（会場：株式会社 Too 中部支店）
今さら聞けないけど本気でやりたいブランディング入門
【講師：株式会社たきコーポレーション 奥田真由氏】
- 7月25日（火） 17時～（会場：株式会社 Too）
ANAの中期経営戦略と広報の考え方【講師：ANA 広報部】
- 9月26日（水） 17時～（会場：株式会社 Too）
ウエルビーイング 幸せな働き方を科学的に知る【講師：日立製作所フェロー 矢野和男氏】

以上、現在決定または予定しているセミナーです。なお、タイトルは全て仮称です。

どのセミナーも、経営者はもとより次代を担う若い方々にも聞いてもらいたい内容としました。

また、これ以外にも今後の経営に役立つようなものがあれば随時計画いたします。

2. 若手クリエイターを中心としたデジタル系セミナーの開催

これまでも人気の高い Illustrator・Photoshop の最新情報・作業効率アップ、動画編集を中心に、メタバースや AI、デジタルマーケティングの実際、またコロナ禍を経て新たな働き方に対応し、業務効率化やコミュニケーションの活性化に繋がる方法など、会員社の皆さまにとって有益であろう、新機軸も打ち出したく検討してまいります。

3. ココの繋がりの強化を図り、課題解決に向かう（一般公開の交流会形式）

昨年3年振りに開催したビジネス交流会は、「雑談ミーティング」と名称を変更し、会員社のみならず一般の制作会社にも門戸を開き、内容も会社経営や人材育成にまつわる内容をディスカッションする場に改めました。様々な内容で話しは尽きないほど盛り上がり、この手法を用い継続開催してまいります。なお、経営者層の課題解決の場以外に、主体をクリエイターや学校関係者にするなど、職種・職能ごとの開催も検討していきたいと思っております。

4. 学生支援セミナーの開催（検討）

ここ数年はコロナ禍の中、オンラインにて「クリエイティブの仕事・職種」に関するセミナーを若手クリエイターを講師に開催。また、就活やポートフォリオに関しては、採用担当者を講師に開催してまいりました。コロナ禍も一段落といったいま、オンラインでの開催が良いのか、また今まで通りの内容で良いのかなど、学校で行えること以外で何が出来るか、検討が必要と思っています。学校関係者の皆さんとクリエイターの皆さんの意見を参考に考えてまいります。

5. 講師派遣・学生広告団体（東広連）支援

専門学校の学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会への参加。ならびに講師派遣依頼への対応を行います。また、東京学生広告研究団体連盟（東広連）活動の支援（ワークショップやセミナーの開催）ならびに同団体の学生広告展の審査協力を行ってまいります。

6. 経営状況等各種アンケートの実施とその共有

昨年度はセーフティネット 5 号に関する売上状況等のアンケート、「アフターコロナを考える～コロナ禍を経ての現状確認と今後について～」を実施いたしました。本年度もその必要性に応じ、各種アンケートを実施することで課題に対する意識を醸成しつつ、その結果を共有していきたいと思っております。

7. 広告関係団体との情報交換

広告関係 23 団体との情報交換も全てオンラインが中心となっていました。今後変化していくとは思いますが、各団体とも様々な取組みを行っていますので、ここで取り上げられた有益な情報は共有出来るよう努めてまいります。

8. 広告のこれからについて座談会（OAC50 周年に向けて）

2024 年 OAC50 周年に向け、「広告制作とクリエイティブのこれまでと、これから」と題し、「デザイナー・コピーライター編」・「カメラマン・スタイリスト編」・「デジタルクリエイター編」を行い順次 OAC サイトにて公開していくことを計画しています。

今後の広告制作業界とクリエイターの魅力や価値はどうあるべきか、残すべき点と変化していくべき点は何か、今後の広告制作のあり方を探る機会といたします。

会員企業相互の発展のために

1. CREATOR 誌の監修

毎年 12 月に宣伝会議社より発行している CREATOR 誌の監修。自社ブランディングを捉え直す機会として、そして自社をアピールする機会として会員各社にとっては貴重な場となっていると思います。また学生にとっては制作会社を知るために、そしてクライアントサイドはパートナー探しのための情報源として活用されています。今年度は CREATOR2024 として発行を予定し、内容のより一層の充実を図ります。

2. E&O 保険の継続

E&O とは、Errors「過失」Omissions「怠慢」の略語で、職務の遂行上の過失や怠慢によって顧客等の第三者に経済的な損害を与えた事に起因し、法律上の賠償責任を負う事によって生じた損害を補償するものです。OAC 独自の本保険は、データ入力ミスや著作権に関して活用され、現在 20 社の会員社が加入。新たに加入を検討される方は事務局までお問い合わせください。

3. 会員社の強みの可視化を検討

会員社各社が何に強みがあるか、どんなクリエイティブを發揮できるのか、それを可視化できる仕組みを検討していきたいと思います。

【目的】

1. ビジネス機会の逸失を減少させる
(自社では出来なくとも、タッグを組むことで解決できることの認識を深める)
2. 広く一般にも公開する手段を用い、新たなビジネス獲得への一助とする

各社の詳細は HP で理解してもらおうとして、その前段階にて得意分野（化粧品や医薬、不動産、金融等々の業種把握）や、（エディトリアル、WEB、アプリ開発などの職能分野の把握）等、可視化する方向を考え、会員社メリットの一つにしていきたい。

また、例えば「OAC クリエイター100 人の仕事」などと銘打ち、展示する機会を設けるなど、会員社クリエイターのモチベーション向上に繋がる機会も検討していきたいと思います。

その他、皆さまよりご意見を頂戴しつつ、今まで以上に「OAC に参加していて良かった、個々のクリエイター自らが楽しみ、面白がれている」そんな OAC にしていきたいと思います。

2023 年度もご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

2023年度予算 収支予算書（正味財産増減計算書ベース）

2023年4月1日～2024年3月31日まで

（単位：円）

科目	2023年度 予算	2022年度 予算	増減	2023年度公益目的事業		2023年度収益等事業			法人会計
				公I	(合計)	収I	共益	(合計)	
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
受取会費等	23,230,000	23,220,000	10,000	16,261,000	16,261,000	0	1,161,500	1,161,500	5,807,500
正会員受取会費	14,880,000	15,720,000	△ 840,000	10,416,000	10,416,000		744,000	744,000	3,720,000
賛助会員受取会費	7,380,000	7,500,000	△ 120,000	5,166,000	5,166,000		369,000	369,000	1,845,000
新賛助会員受取会費	180,000	0	180,000	126,000	126,000		9,000	9,000	45,000
新正会員受取入会金	250,000	0	250,000	175,000	175,000		12,500	12,500	62,500
新正会員受取会費	540,000	0	540,000	378,000	378,000		27,000	27,000	135,000
事業収益合計	4,120,000	4,520,000	△ 400,000	580,000	580,000	3,266,000	274,000	3,540,000	0
広告料収益合計	3,266,000	3,260,000	6,000	0	0	3,266,000	0	3,266,000	0
CREATOR2024 会員社員掲載料	2,420,000	2,200,000	220,000		0	2,420,000		2,420,000	
CREATOR2024 広告掲載料	780,000	1,000,000	△ 220,000		0	780,000		780,000	
OACサイトバナー広告	66,000	60,000	6,000		0	66,000		66,000	
受講料収入	180,000	0	180,000	180,000	180,000			0	0
経営委員会セミナー	180,000	0	180,000	180,000	180,000				
雑収益	674,000	1,260,000	△ 586,000	400,000	400,000	0	274,000	274,000	0
タクシー協会 協賛金	400,000	1,060,000	△ 660,000	400,000	400,000	0			
OAC総合賠償責任保険 事務手数料	274,000	200,000	74,000	0	0		274,000	274,000	0
【経常収益計】	27,350,000	27,740,000	△ 390,000	16,841,000	16,841,000	3,266,000	1,435,500	4,701,500	5,807,500
(2) 経常費用									
<事業費>									
人件費	13,311,510	13,298,350	13,160	12,686,100	12,686,100	174,580	450,830	625,410	0
役員報酬	4,845,000	4,845,000	0	4,590,000	4,590,000	0	255,000	255,000	
給料手当	4,703,760	4,703,760	0	4,503,600	4,503,600	100,080	100,080	200,160	
法定福利費	822,500	809,340	13,160	787,500	787,500	17,500	17,500	35,000	
人材派遣費	2,536,500	2,536,500	0	2,422,500	2,422,500	57,000	57,000	114,000	
役員退職金積立	403,750	403,750	0	382,500	382,500	0	21,250	21,250	
事務所関係費	3,969,400	3,969,400	0	3,791,000	3,791,000	89,200	89,200	178,400	0
家賃	3,773,600	3,773,600	0	3,604,000	3,604,000	84,800	84,800	169,600	
水道光熱費	195,800	195,800	0	187,000	187,000	4,400	4,400	8,800	
諸費	6,917,988	7,302,400	△ 384,412	4,438,130	4,438,130	2,264,929	214,929	2,479,858	0
通勤交通費	441,988	432,400	9,588	423,180	423,180	9,404	9,404	18,808	
会議費	20,000	20,000	0	20,000	20,000			0	
会場費	395,000	500,000	△ 105,000	295,000	295,000		100,000	100,000	
旅費交通費	260,000	200,000	60,000	260,000	260,000			0	
通信運搬費	136,000	186,000	△ 50,000	136,000	136,000			0	
事務消耗品費	190,960	145,000	45,960	190,960	190,960			0	
広告宣伝費	149,000	325,000	△ 176,000	149,000	149,000			0	
渉外費	30,000	30,000	0		0		30,000	30,000	
制作費	0	200,000	△ 200,000	0	0			0	
印刷費	363,000	423,000	△ 60,000	363,000	363,000			0	
支払手数料（ZOOM）	146,300	110,000	36,300	146,300	146,300			0	
リース料	208,740	221,000	△ 12,260	208,740	208,740			0	
諸謝金	410,000	350,000	60,000	410,000	410,000			0	
諸会費	60,000	60,000	0	0	0		60,000	60,000	
委託費	2,240,000	2,240,000	0	0	0	2,240,000		2,240,000	
修繕費	207,000	210,000	△ 3,000	175,950	175,950	15,525	15,525	31,050	
サイト運営費	1,470,000	1,470,000	0	1,470,000	1,470,000			0	
雑費	190,000	180,000	10,000	190,000	190,000			0	
事業費計	24,198,898	24,570,150	△ 371,252	20,915,230	20,915,230	2,528,709	754,959	3,283,668	0

(単位：円)

科目	2023年度 予算	2022年度 予算	増減	2023年度公益目的事業		2023年度収益等事業			法人会計
				公I	(合計)	収I	共益	(合計)	
<管理費>									
人件費	942,490	941,650	840	0	0	0	0	0	942,490
役員報酬	255,000	255,000	0		0			0	255,000
給料手当	300,240	300,240	0		0			0	300,240
法定福利費	52,500	51,660	840		0			0	52,500
人材派遣費	313,500	313,500	0		0			0	313,500
役員退職金積立	21,250	21,250	0		0			0	21,250
事務所関係費	490,600	490,600	0	0	0	0	0	0	490,600
家賃	466,400	466,400	0		0			0	466,400
水道光熱費	24,200	24,200	0		0			0	24,200
諸費	1,718,012	1,737,600	△ 19,588	0	0	0	0	0	1,718,012
福利厚生費	30,000	30,000	0		0			0	30,000
通勤交通費	28,212	27,600	612		0			0	28,212
図書費	75,000	75,000	0		0			0	75,000
通信運搬費	184,800	185,000	△ 200		0			0	184,800
事務消耗品費	99,600	100,000	△ 400		0			0	99,600
渉外費	33,800	53,000	△ 19,200		0			0	33,800
印刷費	10,000	10,000	0		0			0	10,000
支払手数料	230,000	230,000	0		0			0	230,000
支払報酬	874,000	874,000	0		0			0	874,000
リース料	13,600	14,000	△ 400		0			0	13,600
公租公課	73,000	73,000	0		0			0	73,000
修繕費	66,000	66,000	0		0			0	66,000
管理費計	3,151,102	3,169,850	△ 18,748	0	0	0	0	0	3,151,102
【経常費用計】	27,350,000	27,740,000	△ 390,000	20,915,230	20,915,230	2,528,709	754,959	3,283,668	3,151,102
【評価損益等調整前当期経常増減額】	0	0	0	△ 4,074,230	△ 4,074,230	737,291	406,541	1,143,832	2,656,398
基本財産評価損益等									
基本財産評価損益等									
特定資産評価損益等									
特定資産評価損益等									
投資有価証券評価損益等									
有価証券評価損益等									
【評価損益等計】									
【当期経常増減額】	0	0	0	△ 4,074,230	△ 4,074,230	737,291	406,541	1,143,832	2,656,398
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
【経常外収益計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
【経常外費用計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【当期経常外増減額】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【当期一般正味財産増減額】	0	0	0	△ 4,074,230	△ 4,074,230	737,291	406,541	1,143,832	2,656,398
【一般正味財産期首残高】	25,312,594	24,234,226	1,078,368						
【一般正味財産期末残高】	25,312,594	25,312,594	0	△ 4,074,230	△ 4,074,230	737,291	406,541	1,143,832	2,656,398
II 指定正味財産増減の部									
【当期指定正味財産増減額】	0	0	0						
【指定正味財産期首残高】	0	0	0						
【指定正味財産期末残高】	0	0	0						
III 正味財産期末残高	25,312,594	25,312,594	0						

- 公益目的事業比率： 76.5% (公益目的事業の費用計/経常費用計)
- 収益等事業比率： 12.0% (収益目的事業の費用計/経常費用計)
- 法人会計比率： 11.5% (法人会計の費用計/経常費用計)

2023年度委員会・理事会日程

公益社団法人 日本広告制作協会(OAC)

	経営委員会	未来価値開発委員会	クリエイティブ委員会	広報委員会	理事会
時間帯	都度変更あり	18:00~19:00	17:00~18:00	都度変更あり	17:00~18:00
4月	4月18日(火)	4月11日(火)	4月13日(木)	4月19日(水)	4月20日(木)
5月	5月25日(木) 第35回定例総会 16時(OAC事務局&ZOOM)				
6月	6月21日(水)	6月13日(火)	6月15日(木)	予定	6月22日(木)
7月	7月25日(火)	7月11日(火)	7月13日(木)		7月20日(木)
8月	OACビジネス交流会 雑談ミーティング※ 開催日は後日お伝えします。 なお、8月は基本的に休会とし、必要に応じ開催。事務局にご相談ください。				
9月	9月26日(火)	9月5日(火)	9月7日(木)	予定	9月21日(木)
10月	計画中	10月3日(火)	10月5日(木)		
11月		11月7日(火)	11月9日(木)	予定	11月16日(木)
12月	12月12日(火)	12月5日(火)	12月7日(木)		12月14日(木)
2024年1月	新年賀詞交換会 1月11日(木) (予定)				
	1月23日(火)	1月16日(火)	1月18日(木)		
2月	2月20日(火)	2月6日(火)	2月8日(木)	予定	2月15日(木)
3月	3月12日(火)	3月5日(火)	3月7日(木)		3月14日(木)

2023年度 経営委員会セミナー（確定分）

開催日	タイトル	講師	時間	会場
4月18日（火）	クリエイター社員の可能性を信じて新領域進出へ	(株)スタチオ・ユニ 佐藤社長・小笠原氏	16時～17時30分	(株)スタチオ・ユニ
6月21日（水）	デジタル庁が考えるサービスデザインと今後のデザイナーの役割（仮題）	デジタル庁 外山雅暁氏	17時～18時30分	(株)Too
7月25日（火）	ANA の中期経営戦略と広報の考え方（仮題）	ANA広報部 槻本裕和氏	17時～18時30分	(株)Too
9月26日（水）	ウエルビーイング 幸せな働き方を科学的に考察する（仮題）	日立製作所フェロー 矢野和男氏	17時～18時30分	(株)Too

2023年度 各委員会 事業関係

		2024年													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
クリエイティブ委員会	ココロはずむ一行タクシー 東京の街にくだそう！	企画・募集原稿作成	コピー募集開始 5月20日締切 選考開始	決定 データ制作	ラッピング	走行開始									
	2024事業 『みなおしたぜ！ニッポン』展 (渋谷ヒカリエ 8/COURT)	企画・募集原稿作成		募集告知				応募期間	選考等	(配布)・図録等制作			展示レイアウト決定	17日(金) 18日(土) 19日(日) 開催	
	三陸鉄道カレンダー2024 あなたのイーハトーブを探す旅	企画・確認・募集原稿作成	エントリー募集開始	月」の告知6	作品締切 7月末	選考	入稿	カレンダー完成・ギャラリー列車運行	カレンダー販売期間				2025年版制作準備	エントリー募集開始	
	第12回学生広告 クリエイティブアワード			課題提供 企業決定	募集告知				応募期間	選考等	授賞式				
未来価値開発委員会	第7回 想いを伝えるカード デザイン大賞			募集告知				応募期間(8/1～10/6)	授賞式						
	第12回学生アイデアで社会をより良くするコンテスト								募集告知	応募開始	締切1月26日(金)	発表			
	クリエイター向け デジタルセミナー	計画中													
	学生支援事業	計画中													
広報委員会	OACビジネス交流会	【経営委員会と共催】				開催予定									
	50周年座談会	4月19日		予定			予定								

AI時代の私たち

コロナ禍の3年間で世の中も様変わりしました。歴史上は、伝染病の流行、自然災害、飢饉、戦争等々、様々な出来事とその都度変化は起きていたはず。そこで、いま話題の Chat GPT に「100年以上続く企業の共通点は？」と質問してみました。以下、そのままの回答です。

100年以上続く企業には、以下のような共通点があります（Chat GPT の回答）。

1. **継続的な変化に適応する能力**：長期的な存続に必要なのは、絶え間ない変化に対応する柔軟性と適応力です。長期的に成功している企業は、常に市場や技術、顧客ニーズなどの変化に敏感であり、それに適応することができます。
2. **独自のビジネスモデル**：長期的な成功を維持するためには、独自のビジネスモデルが必要です。成功した企業は、競合他社と差別化できる強みを持ち、その強みを長期的に維持できるようにしています。
3. **長期的な視野と戦略**：100年以上の存続を目指す企業は、短期的な利益を追求するだけでなく、長期的な視野と戦略を持つことが重要です。成功した企業は、将来の成長や変化を見越して戦略を策定し、その戦略に基づいて投資や事業展開を行っています。
4. **強固な企業文化**：長期的な成功には、強固な企業文化が必要です。成功した企業は、明確なビジョンや価値観を持ち、それを従業員や顧客に共有しています。また、企業文化を維持するために、継続的な教育や社員の育成に力を入れています。
5. **質の高い製品やサービスの提供**：最後に、成功した企業は、常に質の高い製品やサービスを提供しています。顧客満足度を高め、顧客ロイヤルティを維持することで、長期的な成功を確保しています。

「それ以外にもありますか？」と投げかけると、

継続的なイノベーション（改善）・チームワークの重視・社会的責任・組織の柔軟性・顧客中心主義・常に学び続ける姿勢・強力なブランドイメージ……とどんどんでてきます。

ネット上の膨大なデータから瞬時に回答する AI。また小説やコピーも書けます。これも変化ですね。使ってみて初めて、「なるほど、これは問題もあるな」と思えます。提示されるデータが全て正しいとは限らないし、著作権やクリエイティブの今後なども考えさせられます。今までもクリエイティブのヒントとして書籍やネットで資料を探し、それをそのまま使えば盗用。クライアントへ迷惑をかける結果になるのも AI と同様でしょう。

AI も使いよう。顧客等のマーケティングデータなど、発想やアイデアのヒントにするのは良しとしても、みんな同じ AI 環境にいる以上、ますますアウトプットの表現は、オリジナリティが求められてくると思われる。

人は強いられてやることは嫌い。自ら自発的に行い、何かをつくりあげることだと苦勞をいとわない。この辺りの環境を、そして人をどうつくっていくかが、今後大切になってきそうな気がします。

OAC も皆さんとともに、考えていきます。



〒104-0061 東京都中央区銀座 1-14-7 銀座吉澤ビル9F

TEL03-3561-1220 FAX03-3561-1221

Mail info@oac.or.jp

HP : <http://www.oac.or.jp/>

face book : <http://www.facebook.com/creativeOAC>

twitter アカウント : creativeOAC